



ともに伸びる馬室っ子 ~あせがきらきら馬室っ子~

令和8年2月2日

2月号

鴻巣市立馬室小学校

電話 541-0578

馬室小だより

心の豊かさを、もっと。
~ CM 「鬼のゆく道」をみて~

校長 齋地 満

節分の豆まきは、季節の節目に家や人に入り込んでくる邪気を鬼に見立て、追い払う風習です。仏教の煩惱から5色（赤青黄緑黒）の鬼がいるそうで、昨年校長講話でも話をしました。話は変わりますが、鬼と言えは気になるCMがあります。それは、鬼に扮する山田孝之さんが、「心の豊かさ」とは何かを探がす企業CM「鬼のゆく道」です。

ある日、お地蔵様を洗っているおばあさんに話しかけると、「心の豊かさ大事。」と饅頭を渡されます。鬼は、「心の豊かさって？」と聞きますが、「なんだろうね。」と返され、答えを探す旅に出ます。鬼は少女に出会い、心の豊かさについて問いかけると、「そんなことも知らないの、とりあえず笑おっか。」と言われ、戸惑いながらも初めて笑顔を作ります。次に若い男女から羊かんをもらった鬼は、「分けたら減る。」と言いますが、「でも、うれしいが増えるでしょ。」と教わり、独り占めしていたベンチの両脇を譲ります。また、バス編では、運転手に「感謝することかな。感謝されると嬉しいから。」と教わり、赤ちゃんを抱えた女性のために席を詰め、感謝の言葉をもらうのです。これらのCMを見て、「当然のことなのでは？」と思いました。しかし、何故か引き付けられてしまいます。

学校では道徳を中心に教育活動全体を通し、他人を思いやる心、生命や人権を尊重する心、自然や美に感動する心、正義感や公正さを重んじる心など多様な感情や価値観を育み、豊かな心の育成に取り組んでいます。一方で、単なる知識ではなく、具体的な行動や態度へつなげる道徳的実践力をもっと目に見える形にしたいと感じています。先日、路線バスに乗ったときに、高校生もたくさん乗っていたのですが、全員「ありがとうございました。」と言って降りていくのです。バス編の冒頭に小学生が、大きな声でお礼をいって降りてくシーンと重なり、これも心の豊かさなのだと、実感しました。最新話ではおばあさんと再会し、心の豊かさは人それぞれであることを鬼は知ります。

馬室小では元気にあいさつする姿や休み時間に仲良く遊ぶ姿があります。靴がきれいに並べられている下駄箱を見ます。6年生が黙々と校長室前のろうかを掃除してくれています。これらもみんな心の豊かさなのだと気づくと、道徳的実践力が身に付いてきているなと感じることができました。

CM制作担当の「『心の豊かさ』について問うてみる、そんなきっかけになればと思っています。」という意図にまんまとはまってしまったようです。



市内在住のショートトラック選手、金井 莉佳さんと車いすカーリング選手小川 亜希さんが、ミラノ・コルティナ冬季オリンピック、パラリンピックへの出場を決めました。ベストパフォーマンスを期待しています。応援しましょう！

